

活動報告

(抜粋してのご報告になりますが、ご了承ください。)

- ◆10月 2日(火) 尾道市議会第4回臨時会
- ◆10月15日(月) 尾道市議会決算特別委員会
~17日(水)
- ◆11月 8日(木) 市町村アカデミー開設25周年記念特別セミナーに参加しました。
~ 9日(金)
- ◆11月23日(金) 尾道市青少年健全育成大会に参列しました。
- ◆12月 4日(火) 尾道市議会第4回定例会
~18日(火)

柿本和彦が目指す政治活動(重点目標)を振り返って

平成23年に掲げたミッション、ビジョン、そして、重点目標。今一度、検証し、平成25年の活動を進めて参ります。

重点目標

- ◆**生きがいのある暮らしづくり**
 - ・いきいきと活動できるステージの提供
- ◆**社会起業家の育成**
 - ・新たな産業の掘り起こし
 - ・若者支援(雇用の創出)
- ◆**地域の教育力向上**
 - ・放課後子ども教室の充実
 - ・人間力開発の支援
- ◆**家庭の教育力回復**
 - ・子育て支援の拡充
 - ・実体験のステージづくり
- ◆**住民自治の流れを加速**
 - ・協働のまちづくりの推進
 - ・「お任せ民主主義」からの脱却
 - ・地方分権への取り組み
- ◆**学校教育の充実**
 - ・少人数学級の実現
 - ・コミュニティスクールの活用

MISSION

誇りある尾道の創造
~未来へつなぐまちづくり~
~人をつなぐまちづくり~
~地域をつなぐまちづくり~

日々の活動をブログで紹介しています。

携帯電話のインターネットからもご覧いただけますので、是非、どうぞ!!!

<http://blog.k-kakimoto.com/>



【柿本和彦後援会】

〒722-0062 尾道市向東町3301-1

Tel・Fax兼用(0848)41-9315 Fax(0848)44-6829

メールアドレス: info@k-kakimoto.com

ホームページURL: <http://k-kakimoto.com/>

ブログURL: <http://blog.k-kakimoto.com/>

ご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください!



愛と志で誇りある未来を創造しよう!

かきもと かずひこ

柿本和彦後援会 会報 VOL.06

編集: 柿本和彦後援会

平成25年 1月 1日発行

新年明けましておめでとうございます

柿本和彦を市政の場に送り出させていただいて、折り返しとなる年になりました。国政は大きな転換期が到来しているように感じますが、市政も財政難、高齢化、少子化などによって、かつてない舵取りが要求されると思います。

『議会改革』と称し、議会運営や組織全体に関するさまざまな見直し、全国の地方議会で行われています。こうした作業は、環境に適合させるために必要な、いわば当たり前の作業です。地方議会を取り巻く環境が大きく変わってきている訳ですから、改革は必然なのです。ダーウィンに言わせれば、環境に適合できないモノは生き残れないということですね!

そうした中、平成25年に柿本和彦がどのような活躍を見せてくれるのか、柿本和彦後援会として、しっかりとサポートをして参りたいと思います。皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

まちづくりは、ひとづくり

昨年、10回目となる“おのみち100km徒歩の旅”の団長をさせていただき、多くの学生ボランティアの皆さんとのご縁をいただきました。

10回目ともなると、既に、家庭を持っている歴代学生ボランティアもいますが、近年の学生を観ていて、特に気になることがあります。

それは、“おの100”が目指している「生きる力の育み」が欠如している学生が、増えてきたということです。

何がこうした背景にあるのか?

もちろん、体験不足により知識が知恵になっていない、ということはありませんが、更に原因を追究した時、二つの側面があるのではないかと、思うようになりました。一つは、豊かな時代で自らが行動を起こさなくても暮らしていける、ということ。そして、もう一つは、自己肯定感が育まれていない、ということです。

後者に関連して、昨年、あることを感じました。

それは、『成功でなければすべて失敗』という考え方が蔓延しているということです。つまり、成功は失敗の積み重ねの上に成り立っているということを受け入れられない、デジタル(“0”か“1”)社会の弊害なのか“遊び”となる行動が無いのです。失敗を好し!とする価値観や環境を子どもたちに伝えていかなければならない、そして、大いに失敗し成長する場を創出しなければならない、そんなことを感じている今日この頃です。

柿本和彦の活動報告

《2012（平成24）年10月～12月》

視察報告

◆ 会派（誠友会）で、10月10日（水）～12日（金）、

第74回全国都市問題会議に参加して参りました。

今回は、『都市の連携と新しい公共～東日本大震災で見た“絆”の可能性～』というテーマで、盛岡の地において開催されましたが、

陸前高田市長の「私たちが忘れないでください！」という言葉は、心に響くものがありました。

「大震災そのものを忘れないで欲しい！、ということ、そして、忘れないでもらえる（と思う）ことにより私たちは頑張れる！という二つの面が、この言葉には含まれています。」

とおっしゃられていたのが印象的でした。

また、大震災後、“絆”の重要性が叫ばれていますが、

人と人だけでなく、まちとまちなど、

すべてのことに言えることであり、

行政も形式に囚われず、

いろいろな切り口で連携を模索していかなければならないと感じました。



◆ 総務委員会で、10月23日（火）～24日（水）、

佐倉市と荒川区を視察しました。

佐倉市では、ファシリティマネジメントについて

学ばせていただきましたが、

縦割りの組織にありがちな個々の最適解を求めるという手法から、

組織全体を考えた最適解を見出すという手法への転換が、

メンテナンス社会には、より一層重要になると思いました。

また、担当職員の業務遂行に当たっては、

やりがい、使命感といった**気概の醸成**が必要になってくるように思いました。

荒川区では、**防災の取り組み**について、学ばせていただきましたが、

全世帯（2万戸）に配備した“赤いバケツ”は、

区民の意識づけに有効で大変素晴らしい取り組みだと思いました。

そして、防災計画の原点は**現状をいかに正しく把握するか**に掛かっていると思いました。

足もとを正しく把握し、しっかり研究し、分析するからこそ、

役に立つ計画が出来るのだと再認識しました。



12月定例会一般質問要旨

『柿本和彦の重点目標』を中心に22点、質問をいたしました。

1. 人をつなぐまちづくり～地震時における減災について～
 - (1) 潮位差が4mになる瀬戸内海において、誤解を生まない津波の情報提供をどのように考えているか。
 - (2) 入江や複雑な海岸線を持つ島しょ部において、地理的特性を考慮した対策や広報をどのように考えているか。
2. 人をつなぐまちづくり～通学路の環境整備について～
 - (1) 尾道市内の通学路の安全点検状況はどのようになっているか。
 - (2) 危険箇所及び要注意箇所に関して、対策はどのようになっているか。また、今後の計画はどのようになっているか。
 - (3) 危険箇所調査を情報共有し、地域と協働して子どもたちの安全・安心を守ってはどうか。
3. 地域をつなぐまちづくり～尾道港内渡船について～
 - (1) 交通弱者が困らない、行政として最大限の施策を実施するという決意はあるか。
4. 地域をつなぐまちづくり～海事都市の展開について～
 - (1) 海フェスタを一過性のイベントとするのではなく、海事思想について啓発し、海を愛する市民を育む仕掛けを作ってはどうか。
 - (2) 造船に関する新たな観光資源を発掘し、当たり前の風景に付加価値を見出すなどの探究を通じて、島しょ部ゾーンを“市内まるごと博物館”にしてはどうか。
5. 未来へつなぐまちづくり～コミュニティスクールについて～
 - (1) 全国でのコミュニティスクールの指定状況はどのようになっているか。
 - (2) 指定状況の温度差の原因をどのように考えているか。
 - (3) 向東小学校の指定に続いて、尾道市内ではどのような展開を計画しているか。
6. 未来へつなぐまちづくり～中学校でのキャリア教育の充実について～
 - (1) 職場体験学習の成果をどのように捉えているか。
 - (2) 職場体験の事前及び事後にどのような目標設定や振り返りを行っているのか。また、受け入れ先の企業には指導に関する助言や依頼をしているのか。
 - (3) 進路指導は、どのような観点で実施されているのか。受験に偏った進路指導が行われていないか。また、キャリアについて考える機会が十分あるのか。
 - (4) どのような資格を持った人が指導をしているのか。キャリアデザインやキャリアプランを専門的に指導する担当者が必要ではないか。
7. 未来へつなぐまちづくり～学校評価制度の位置づけについて～
 - (1) 制度の意義を教職員にどのように落とし込んでいるのか。また、保護者や地域の方には、どのような方法で制度の意義を伝えているのか。
 - (2) 課題として挙げられた項目に対して、教育委員会としてどのような手助けやサポートをしているのか。
8. 未来へつなぐまちづくり～通学合宿について～
 - (1) 他の市町で実施している通学合宿に関して、どのような評価をしているか。
 - (2) 尾道市で実施する場合、どのような課題があるか。また、その課題を解決し実施できるよう支援する考えはあるか。
9. 未来へつなぐまちづくり～協働のまちづくりについて～
 - (1) 自分たちの地域は自分たちで創っていく、という意識を持ってもらうため、また、それによるやりがいを感じてもらうため、自分たちの地域の課題を解決していくための助成金制度を創設する考えはあるか。
10. 未来へつなぐまちづくり～職員の取り組み姿勢について～
 - (1) 求められる職員像を目指すために、資質の開発をどのように行っていくのか。
 - (2) 輝き続ける職員に成長してもらうために、仕事に対する取り組み姿勢をどのように指導していくのか。